

令和 4 年度
事業報告

自 平成 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

I LOVE IWATE

岩手県国際交流協会

「令和4年度事業報告」目次

＜概要＞	1
＜事業活動＞	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
2 多文化共生の地域づくり	9
3 次代を担う人づくり	26
＜管理部門＞	
1 評議員会・理事会等の開催状況	29
2 業務執行体制等	30
(1) 職員の状況	30
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	30
(3) JICA国際協力推進員の配置	30
3 寄附金及び賛助会員の状況	30
(1) 寄附金の受入れ	30
(2) 賛助会員の入退会	30

令和4年度事業報告

＜概 要＞

2022(令和4)年度は、令和元年度を初年度とする長期計画に基づき「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」及び「次代を担う人づくり」の3つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

この3年間、新型コロナウイルスの影響による在住外国人の一時的な減少はあったものの、入国制限の段階的な緩和により留学生はじめ技能実習生等は回復傾向にあることから、各地域における国際化の推進や外国人受入体制の整備、外国人相談・情報提供等に取り組んだ。

なお、事業実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら取り組んだ。

「働く外国人支援プロジェクト、多文化共生地域づくりプロジェクト」では、引き続き「地域日本語教育推進事業」を実施し、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身につけられるよう、オンラインによる日本語講座を新たに開設するなど、県内の日本語教育体制の構築を図った。

また、災害時における多言語サポーター育成のための研修、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

なお、「いわてグローバル人材育成推進協議会」では、海外留学支援について、上期・下期に分けて募集し、3年振りに計3名の海外留学を支援した。また、グローバルキャリアフェアを実施し、外国人留学生等の高度人材の県内就職を支援する取組を行い、若年人材の育成に重点的に取り組んだ。

各プロジェクト推進に係る会議、研修、セミナー等の実施に当たっては、上記記載のとおりオンラインでも参加が可能とし概ね計画通り実施することができた。

3つの柱と6つのプロジェクトにおける主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

＜長期ビジョン関連プロジェクト＞

○多文化共生の地域づくり〈ダイバーシティ〉プロジェクト

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベント、英語コーナーの定期的な実施や様々なテーマでの企画展示など、センター利用者の拡大に努めた。

市町村及び市町村国際交流協会、国際交流関係団体との連携推進を図るため、地域国際化推進会議や国際交流関係団体連絡会議を開催するとともに、「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を通じた情報提供、地域国際化人材育成研修、国際交流関係団体等との共催事業などを実施した。

また、多言語のホームページや国際交流情報紙、SNSにより、イベントや生活情報、国際交流団体の活動情報、新型コロナウイルス関連情報等について発信した。

また、県内の国際交流団体が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動及び日本語教室の運営経費の一部を助成した。

2 多文化共生の地域づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○働く外国人支援プロジェクト、

○多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト

外国人との交流会や「2022ワン・ワールド・フェスタinいわて」を開催し、在住外国人等と連携・協働により国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に普及啓発を図った。

また、JICA東北や県内フェアトレード団体等と連携し「身近な国際協力～世界フェアトレード」フェアを実施し国際協力の意識啓発を図った。

併せて、外国人と共生するまちづくりをテーマに多文化共生地域づくりセミナーやワークショップを開催し、地域の国際化を考える契機とした。

「いわて外国人県民相談・支援センター」の運営では、中国語、ベトナム語のほか英語、韓国語の専門相談員を配置し、在留資格などの行政手続や医療、福祉、家庭内の問題等幅広い相談に対応するとともに、地域巡回相談により県内企業等を訪問しての情報収集・提供など外国人労働者等の相談・支援の取り組みを行った。

また、ウクライナ支援のため、協会内に相談窓口を設置するとともに、洋野町に避難したウクライナ人に対し、定期的に訪問し、生計や言葉、行政手続きなど生活全般について受入親族や洋野町と協力して支援を行った。

県内外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語教育の新たな担い手の掘り起こし、教育人材のスキルアップ、日本語教室空白地域における教室開設促進、外国人県民へ学習機会の提供等を行った。

また、岩手・秋田・山形の3大学と国際交流協会等による「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づき、地域日本語教育専門人材を養成するための取組を行い、講座修了者等の有資格者を日本語サポーター制度の「教師枠」として登録し、地域の企業等からの有償の依頼に対応する制度を新たに設けた。

併せて、災害時に多言語支援を行うサポーターの育成研修や実践訓練、医療機関等での外国人患者受入がスムーズに行われるよう電話医療通訳の導入や無料外国人医療相談会を行った。

3 次代を担う人づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○グローバル人材育成プロジェクト

○外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

「いわてグローバル人材育成推進協議会」では、海外研修及び県内企業でのインターンシップの経験を活かして、地域に貢献する「グローバル人材」の育成に努めることとしており、新型コロナウイルスの影響により過去2年間実施が見送られていた海外派遣では、上期・下期に分けて募集し、計3名の学生の海外留学を支援した。

また、外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェア、インターンシップ、企業訪問も再開し、県内への就職・定着の支援に努めた。

＜事業活動＞

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

注)各施策の番号は“いわてビジョン2019”の施策番号に対応。

①施策1-1 地域国際化人材育成研修の実施（県補助）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

第1回

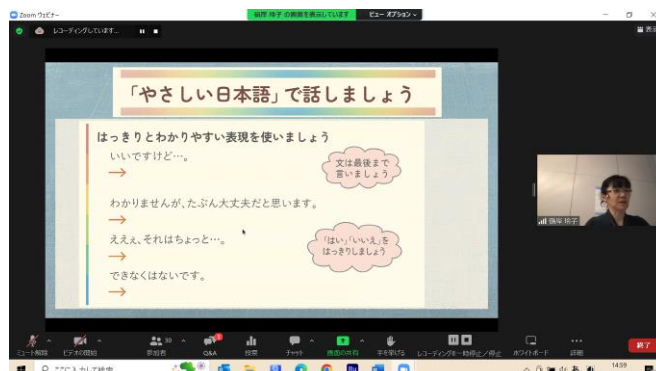
日時・会場	令和4年5月25日(水)13:30～15:30・ZOOMウェビナー
プログラム	「つたえる！つたわる！やさしいにほんご」が伝えること
講師	盛岡大学教授 嶺岸 玲子
参加者数	38人

第2回

日時・会場	令和4年 6月8日(水)13:30～15:30 アイーナ 会議室501 6月9日(木)13:30～15:30 二戸地区合同庁舎 4D会議室 6月15日(水)13:30～15:30 北上地区合同庁舎 大会議室 6月16日(木)13:30～15:30 大船渡地区合同庁舎 第3会議室
プログラム	「災害時における外国人支援」近隣市町村などとの連携を考える
講師	(公財)仙台観光国際協会係長 菊池 哲佳 県国際交流協会主査 大山美和
参加者数	45人

第3回

日時・会場	令和4年7月26日(火)13:30～15:30・アイーナ 研修室 812
プログラム	洋野町におけるウクライナ避難民の受入れに係る対応
講師	洋野町総合サービス課長 一郷敏宏 洋野町教育委員会事務局総務学校課長 竹高 隆一 岩手県行政書士会行政書士 岩渕 渉 県国際交流協会常務理事 坂本 誠一
参加者数	24名



第1回 『「つたえる！つたわる！やさしいにほんご」が伝えること』
オンラインでの研修画面

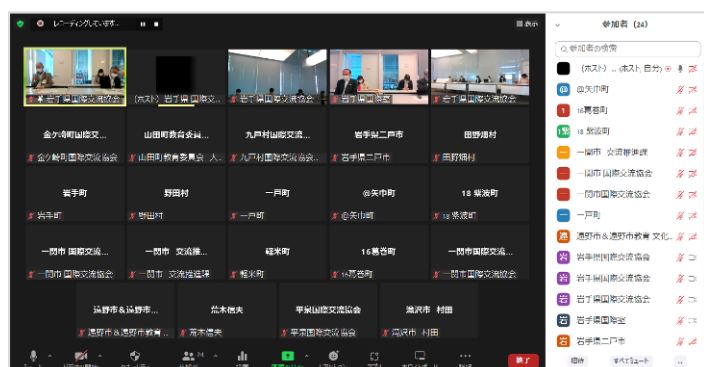
②施策１－２ 地域国際化推進会議の開催

県との共催により、市町村及び市町村国際交流協会が地域における多文化共生・国際化推進の観点から、課題の共有や連携を強化し、取組の活性化を図るための会議を開催した。

【オンライン一部併用】

実施状況

盛岡広域振興圏	日時	令和４年５月２４日（火）１３：３０～１５：３０
	場所	アイーナ ５階 会議室５０１
	参加者	１４市町、１２協会、１広域局 ４０人
県南広域振興圏	日時	令和４年５月１８日（水）１３：３０～１５：００
	場所	奥州地区合同庁舎 分庁舎 ３階 大会議室
	参加者	６市町、３協会 ２０人
沿岸広域振興圏	日時	令和４年５月３０日（月）１３：３０～１５：００
	場所	釜石地区合同庁舎 ４階 大会議室
	参加者	７市町、４協会 ２０人
県北広域振興圏	日時	令和４年５月２６日（木）１３：３０～１５：００
	場所	久慈地区合同庁舎 ６階 大会議室
	参加者	２市、１協会、１広域局 １１人



盛岡広域圏 オンライン併用による会議の様子

③施策２－１（施策１５） いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人・日本人ともに、通訳・翻訳や文化紹介等多様な分野で対応できる方々を登録し、通訳や国際理解講座などの講師紹介依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人３４３人、団体３団体、依頼件数５７件、活用件数４９件、キャンセル２件（前年度 個人３２９人、団体３団体、依頼件数３７件、活用件数３０件、キャンセル３件）

④施策２－２ ホストファミリーの登録・活用

新型コロナウイルスの影響により海外との往来がない状況となっていることから、ホームステイ等の受入れはなかった。

- ・登録者８３家庭、活用０件（前年度登録８２家庭）

⑤施策３－１（施策１３、１４、１６、２２） 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 ２３４，２０３件（前年度３７０，７６６件）＊トップページアクセス数

- ・ホームページ情報提供件数 361件（前年度370件）
- ・SNS、メーリングリスト情報提供件数 203件（前年度539件）

⑥施策 3－2 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年4回発行した。

- ・発行部数 2,700部／回 合計10,800部



発 行	特 集
2022/ 6（夏号）	令和4年度岩手県国際交流協会の取組
2022/ 9（秋号）	外国人の日本語学習
2022/12（冬号）	2022ワン・ワールド・フェスタinいわてを開催しました！
2023/ 3（春号）	1年を振り返って

⑦施策 3－3 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 7,025冊（前年度7,065冊）
- ・資料収集国 190か国（前年度190か国）
- ・国別ボックス 34箱/57か国（前年度31箱/57か国）
- ・民族衣装 26か国/78セット（前年度27か国/60セット）

⑧施策 3－4 いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの運用

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図ることを目的として、リソースバンクを運用した。前年度の情報掲載以降の県内各市町村・市町村国際交流協会等の開催イベント、情報紙などの情報ファイルを追加掲載するとともに、外国人支援に役立つ情報を提供した。

- ・アクセス件数 15,856件（前年度14,418件）
- ・掲載サイト <https://www.iwate-resource-bank.jp/>

⑨施策 4－1 国際交流センターの運営（県委託等）

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ5名を配置し、国際交流や多文化共生に係る情報提供、県民と外国人との交流を図る国際交流・国際協力活動等の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

なお、センター利用にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入口での検温、消毒、窓口での利用票（氏名、連絡先）記入やマスク着用、長時間の会話、不

要な大声を出さない、飲食禁止などを徹底した。

なお、座席数については対面とならないよう制限するとともにアクリル板を設置した。

・来館者数	101,583人	(前年度 65,509人)
・ホームページアクセス件数	234,203件	(前年度 370,766件)
・情報提供件数	1,475件	(前年度 1,604件)

⑩施策４－２ 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	4月2日～7月1日	フェアトレード展
2	7月9日～8月28日	アフリカ展（JICAとの共催）
3	9月5日～10月14日	ワン・ワールド・フェスタ回想展
4	10月3日～11月4日	“What can we do for world peace?”（平和のためのメッセージ発信）岩手大学教育学部附属中学校（英語科）
5	10月17日～10月27日	フランソワ・ジュケール日本展2022（岩手県文化振興課）
6	11月1日～11月25日	2022ワン・ワールド・フェスタ展
7	12月5日～1月31日	青年海外協力活動展示（JICAとの共催）
8	2月16日～4月21日	岩手県の魅力展（在住外国人が海外の方に紹介したい岩手）

⑪施策５－１ 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

【オンライン併用】

- ・開催日 令和5年2月17日（金）
- ・会 場 アイーナ会議室804B
- ・内 容 令和5年度岩手県国際交流協会予定事業説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 37団体41人（前年度35団体39人）



オンラインを併用した会議の様子

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 116団体（前年度117団体）

分 野	団体数
国際理解	16
国際協力	8
日本語教室	5
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	7
二カ国間交流	24
市町村・一般	27

⑫施策５－２ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

ア 国際交流団体等

- ・助成数 3件、助成総額 211千円（前年度 3件、助成総額 147千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
AIスピーキングツアー in 岩手 「ロシア・ウクライナ戦争と人権」写真と講演会	(公社) アムネスティ・インターナショナル日本盛岡 (国際登録48) グループ	66,000円 (147,539円)
「RISE AS ONE」WORLD FESTAL ーダンスを通じて世界への眼をひらけ 花巻のこどもたち！ー	ダンススクール「STAND☆UP」	87,000円 (289,487円)
第30回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ 盛岡ゾンタクラブ	58,000円 (200,706円)

イ 市町村国際交流協会

- ・助成数 6件、助成総額 472千円（前年度 2件、助成総額 99千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
キッズワールドクラブ	(一財) 遠野市教育文化振興財団	94,000円 (217,195円)
西和賀町国際交流協会国際理解講座 「ウクライナ民族楽器バンドゥーラを聞く会」	西和賀町国際交流協会	100,000円 (248,880円)
chat room	宮古市国際交流協会	40,000円 (69,196円)
矢巾町国際交流協会主催 英会話教室事業 「やはばコミュニケーション講座」	矢巾町国際交流協会	100,000円 (350,970円)
かねがさき DE ハロウィン祭 2022	金ケ崎町国際交流協会	38,000円 (61,864円)
ウクライナ支援コンサート もっと知りたいあの国 第18章 ウクライナ	平泉国際交流協会	100,000円 (202,745円)

ウ 日本語教室

- ・助成数 5件、助成総額 304千円（前年度 4件、助成総額 268千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
(特非) 岩手町国際交流協会 日本語サロン	(特非) 岩手町国際交流協会	80,000円 (143,488円)
日本語教室	金ケ崎町国際交流協会	44,000円 (55,000円)
日本語教室「いっぽいっぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000円 (129,810円)
北上にほんご教室	(一社) 北上市国際交流協会	80,000円 (107,526円)
日本語教室 文化交流	在岩手県ベトナム人協会	20,000円 (29,074円)

エ 外国人県民等生活支援

・助成数 0 件、助成総額 0 千円

⑬施策 6（施策29－2） 国際交流関係団体等との共催事業の実施

「あそびの国際ひろばinひろの」としてウクライナ避難民を交えた交流事業を開催した。

共催：洋野町国際交流協会

日時：令和4年7月9日（土） 13：30～15：30

会場：洋野町民文化会館セシリアホール

参加者：57人



参加した親子とウクライナ避難民との交流の様子

2 多文化共生の地域づくり

①施策 8-1 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人等との協働企画により、定期的に外国人との交流会や英語タイムを開設し、参加者の拡大に努めた。また、協会のアウトリーチとして県内二町との連携により国際交流イベントを開催し、広く県内へ国際交流の機会を提供した。

- ・開催回 22回、参加者 延べ825人
(前年度 16回、参加者 212人)

《内訳》

外国人との交流会	開催回数	11回	参加者	延べ642人
英語タイム	開催回数	11回	参加者	延べ183人

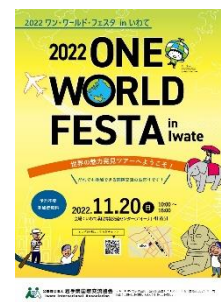


開催日		タイトル	参加人数
1	令和4年4月2日(土)他 ※1月を除く毎月第一土曜	English Time(11回)	183人
2	令和4年4月16日(土)	アイルランドの文化紹介	17人
3	令和4年6月18日(土)	シンガポールの文化紹介	21人
4	令和4年8月20日(土)	ワールドボードゲーム交流会	15人
5	令和4年8月27日(土)	フランスの文化紹介	8人
6	令和4年9月10日(土)	JETプログラム 意見交換会	11人
7	令和4年10月2日(日)	あつまれ！スーパーヒーローズ	460人
8	令和4年10月9日(日)	かぼちゃランタンをつくろう！ (岩泉町国際交流協会共催)	19人
9	令和4年10月15日(土)	南米くらべてみたら	17人
10	令和4年12月10日(土)	クリスマス会in一戸町 (一戸町国際交流協会共催)	39人
11	令和4年12月17日(土)	アメリカの文化紹介～New York編～	9人
12	令和5年2月18日(土)	留学生との交流会	26人
合 計			825人

②施策 8-2 「2022ワン・ワールド・フェスタinいわて」の開催

海外在住を含む外国人と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2022ワン・ワールド・フェスタinいわて」をアイーナ（盛岡市）で開催した。

- ・開催日 令和4年11月20日(日)
- ・会 場 アイーナ4F県民プラザ、5F国際交流センター他
- ・参 加 延べ3,905人（前年度493人）
- ・テーマ 世界の魅力発見ツアーへようこそ！



- ・プログラム ワールドブース（29か国、32のブース）、
カフェブース、国際交流関係
団体ブース、ステージ企画
（南米文化紹介、インドネシアの
昔ばなし、オマーンの文化紹介、
フィリピンのダンス）ほか



③施策 9-1 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県補助）

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするためのセミナーを開催した。

- ・日時 令和5年2月17日（金） 13：15～14：45
- ・会場 アイーナ 会議室803
- ・テーマ 『「日本語上手ですね」の真意』
- ・ファシリテーター

岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子

- ・パネリスト

（株）アークネット代表取締役社長 児玉 明

〃 SE チェンジャー ハウル（マレーシア出身）

- ・参加者数 23人



④施策 9-4 「身近な国際協力～フェアトレード～」の実施

第1回	イベント名	「あなたとつくる サステナブルな社会とファッション」
	開催日時	令和4年6月4日（土）14：00～16：00
	会場	アイーナ5階 会議室501
	内容	ワークショップ、県内企業（やよいディライト）による事例紹介
	共催	JICA（国際協力機構）東北
	参加者	33名
第2回	イベント名	「フードロス×フェアトレード×地産地消」
	開催日時	令和4年8月27日（土）13：00～16：00
	会場	いわぎんスタジアム（盛岡南公園球技場）
	内容	ワークショップ、活動紹介、サッカー交流等
	共催等・協賛・協力	JICA東北、子どもの居場所ネットワークいわて、いわてグルージャ盛岡、JA全農いわて、マーマフーズ株式会社
	参加者	59名



① 6 / 4



② 8 / 27



② 8 / 27

⑤施策10 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県補助）

県民が外国人の多様性についての認識を深め、外国人と共生する地域社会について考える契機とするため、地域の国際化や多文化共生などを切り口としたワークショップを開催し、そこで得られたアイディア等をまちづくりや地域の活性化の一助とすることを目的として開催した。

ア 西和賀町開催

共催：西和賀町



開催日時	会場	テーマ	参加人数
令和4年11月16日（水） 15：00～17：00	西和賀町役場 湯田庁舎大会議室	外国人住民の支援について	16人

⑥施策11 地域日本語教育推進事業（県委託）

地域の一員として、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、県内の日本語学習環境の整備を行うことを目的とし、岩手地域日本語教育コーディネーターを中心に、日本語教育の新たな担い手の掘り起こし、教育人材のスキルアップを目的とした研修、日本語教室空白地域における教室開設の促進、外国人県民へ学習機会の提供等を行った。

また、県民の日本語教育に対する理解促進のため、「やさしい日本語」の啓発普及に努めた。

ア いわて地域日本語教育推進会議の運営

本県における日本語教育支援の取組を総合的かつ効果的に推進するため、外国人支援に関係する団体・機関から構成される会議を運営し、本県の日本語教育施策の検討や情報共有を行うため実施した。

第1回

日 時： 令和4年5月31日（火）14：00～15：30

場 所： 岩手県教育会館 カンファレンスルーム200

出席者数： 20名

第2回

日 時： 令和4年11月1日（火）14：00～15：30

場 所： 岩手県教育会館 カンファレンスルーム200

出席者数： 19名

イ 日本語教育人材及び外国人県民への研修等

地域での日本語教育の新たな担い手の掘り起こしやスキルアップを目的とし、研修を実施した。また、現在日本語サポーターとして活動している方や、地域の教室などで日本語を活動している方が、交流・情報交換できる場を提供した。

(ア) 日本語教育人材向け研修の開催

・二戸市国際交流協会日本語教室国際交流サポーター研修

日 時： 令和4年7月10日（日）、8月7日（日）9：00～12：00

会 場： 生きいき交流センター（二戸市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏

対 象： 二戸市国際交流協会日本語教室国際交流サポーター
内 容： 対話中心の活動について、日本語教室活動の実践
参加者数： 実人数 10人（7/10 7人、8/7 9人）

・釜石市日本語教室「桜会」日本語ボランティア研修

日 時： 令和4年8月21日（日）、9月4日（日）13：00～16：30
9月11日（日）9：00～12：30

会 場： 青葉ビル（釜石市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
藤波 大吾 氏

対 象： 釜石市日本語教室「桜会」で活動したいとする方

内 容： 日本語ボランティアとしての心構え、対話中心の活動について、外国人とのコミュニケーション（やさしい日本語）、日本語教室活動の実践

参加者数： 実人数 13人
（8/21 10人、9/4 6人、9/11 7人）



・宮古市日本語教室「さくら」日本語サポーター研修

日 時： 令和4年11月28日（月）、12月5日（月）、12月19日（月）
18：00～20：00

会 場： イーストピアみやこ（宮古市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏

対 象： 宮古市日本語教室「さくら」日本語サポーター

内 容： 場面に合わせた会話練習、教材の使い方、外国人とのコミュニケーション（やさしい日本語）

参加者数： 実人数 9人（11/28 7人、12/5 8人、12/19 7人）

・日本語サポーター入門講座【オンライン】

第1回

日 時： 令和4年7月6日（水）、7月13日（水）19：00～20：30

実施方法： オンライン

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
藤波 大吾 氏
森屋 静香 氏

対 象： 県内の日本語教室や日本語サポーターとして活動したい方

内 容： 日本語サポーターの役割、外国人とのコミュニケーション（やさしい日本語）、1対1の活動の進め方について

参加者数： 実人数 28人（7/6 27人、7/13 27人）

第2回

日 時： 令和4年12月8日（木）19：00～21：00

実施方法： オンライン

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
森屋 静香 氏

対 象： 県内の日本語教室や日本語サポーターとして活動したい方

内 容： 日本語サポーターの役割、外国人とのコミュニケーション（やさしい日本語）

参加者数： 18人

・ブラッシュアップ研修

第1回

日 時： 令和4年12月18日（日）10：00～12：00

会 場： マリオス181会議室（盛岡市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏

対 象： 県内の日本語教室や日本語サポーターとして活動している方

内 容： オンライン教材（「” いわて” をはなそう」、「つながるひろがるにほんごでのくらし」）の使い方

参加者数： 11人

第2回

日 時： 令和5年3月4日（土）10：00～12：30

会 場： アイーナ501会議室（盛岡市）

講 師： NPO多文化共生プロジェクト 深江 新太郎 氏

対 象： 県内の日本語教室や日本語サポーターとして活動している方

内 容： 『私らしく暮らすための日本語ワークブック』を軸として、学習者ひとりひとりに合わせたサポートを行うために必要な聞く力を考える

参加者数： 22人

・大船渡市にほんご交流カフェ日本語サポーター研修

日 時： 令和5年1月29日（日）、2月5日（日）、12日（日）、19日（日）
13：30～15：30

会 場： おおふなぽーと（大船渡市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
藤波 大吾 氏

対 象： 大船渡市にほんご交流カフェで活動したい方

内 容： 日本語サポーターとしての心構え、外国人とのコミュニケーション（やさしい日本語）、対話中心の活動について

参加者数： 実人数 26人（1/29 19人、2/5 20人、2/12 21人、2/19 21人）

・日本語サポーター交流会

第1回

日 時： 令和4年8月6日（土）10：00～12：00

会 場： アイーナ6階 団体活動室1

ファシリテーター： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
藤波 大吾 氏
森屋 静香 氏

対 象： 県内の日本語教室や日本語サポーターとして活動している方

内 容： 「ANADO」（北九州国際交流協会作成）を使った地域日本語教育シ
ュミレーションゲーム、サポーター同士の情報交換

参加者数： 8人

第2回

日 時： 令和5年2月18日（土）10：30～12：30

会 場： アイーナ5階 501会議室

ファシリテーター： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
藤波 大吾 氏
森屋 静香 氏

ゲストスピーカー： 宮古市日本語教室「さくら」 山口 陽佐子 氏

日本語サポーター 三上 令子 氏

日本語サポーター 吉田 悠 氏

対 象： 県内の日本語教室や日本語サポーターとして活動している方

内 容： 3名のゲストスピーカーそれぞれの活動紹介、サポーター同士の
情報交換

参加者数： 14人

(イ) 日本語教室開設サポート

日本語教室空白地域における教室開設を促進するため、地域日本語教育コーディネーターの派遣等により日本語教室開設の走り出しを支援するためのサポートを実施した。

開設サポート団体：大船渡市国際交流協会、NPO法人おはなしころりん

・日本語教室見学

日 時： 令和4年5月28日（土）11：00～12：30

会 場： 宮古市国際交流協会日本語教室「さくら」（イーストピアみやこ）

対 象： 大船渡市国際交流協会 協会員

内 容： 宮古市国際交流協会日本語教室「さくら」を見学し、地域日本語教室のイメージを掴むとともに、他地域の実践例について学ぶ。

参加者数： 7人

・ワークショップ

第1回

日 時： 令和4年5月28日（土）14：00～15：30

会 場： イーストピアみやこ（宮古市）

内 容： 日本語教室見学を踏まえ、大船渡市国際交流協会日本語教室の方向性について検討する。

参加者数： 7人



第2回

日 時： 令和4年7月9日（土）10：00～12：00

会 場： リアスホール（大船渡市）

内 容： 第1回ワークショップを踏まえ、教室開設のための必要事項を検討する。

参加者数： 7人

第3回

日 時： 令和4年9月18日（日）10：00～12：00

会 場： おおふなぽーと（大船渡市）

内 容： 第2回ワークショップを踏まえ、教室開設のための必要事項を検討する。

参加者数： 8人

(ウ) 日本語教室への巡回訪問、相談対応

日本語教室における実態や課題把握、課題解決のため、岩手地域日本語教育コーディネーター等が県内の日本語教室を巡回訪問し、状況や課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

巡回訪問件数： 25件

(エ) オンライン日本語教室【オンライン】

居住地域に日本語学習の環境がない外国人県民、より多くの学習機会を求める外国人県民へ学習機会を提供するため、オンラインの学習講座を開催した。

開催日時： 令和4年9月7日（水）～令和5年3月8日（水） 毎週水曜日（12/28、1/4を除く）、全25日、計50回実施

コース1 18：00～18：55

コース2 19：00～19：55 ※コース1、2の内容は同様のもの

参加者数： 受講者数 17人、修了者数 10人



ウ 事業者向け啓発活動

外国人を雇用する又はこれから雇用したいとする事業者に対して、日本語教育の実施や配慮についての啓発、利用可能な制度や日本語学習支援の優良事例の紹介等、事業者における日本語教育の取組みを促進する啓発活動を実施した。

(7) 企業、監理団体への訪問・情報提供

情報提供件数：9件

(4) 外部団体セミナーとの連携

- ・「外国人と企業とのワークショップ グローバル人材の活躍を考える」

主 催 者： いわてグローバル人材育成推進協議会

日 時： 令和4年9月9日（金）13：30～15：30

場 所： マリオス会議室188

参加者数： 54名（事業者以外の参加者も含む）

- ・外国人材セミナー

主 催 者： 岩手県中小企業団体中央会

日 時： 令和4年10月20日（木）13：00～16：00

場 所： アートホテル盛岡

参加者数： 約20名

- ・外国人の雇用を考えるセミナー

主 催 者： 北上市

日 時： 令和4年12月2日（金）14：15～16：30

場 所： 北上オフィスプラザ

参加者数： 約30名

- ・「外国人労働者の受入を考える」

主 催 者： INS雇用研究会、北上市産業支援センター

日 時： 令和4年12月14日（水）14：00～16：30

場 所： 北上市産業支援センター

参加者数： 11名

エ やさしい日本語の普及セミナーの開催

日本語教育に関する理解促進及び多文化共生に関する理念普及を目的とし、「つたえる・つたわる「やさしい日本語」セミナー ― 外国人とともに暮らす地域づくりのために ―」を開催した。

日 時： 令和5年1月21日（土）14：00～16：00
会 場： アイーナ5階 会議室501
講 師： 聖心女子大学現代教養学部 教授 岩田 一成 氏
参加者数： 46人



⑦施策12(施策20) 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 109人（前年度144人）、うち有資格者等登録者19人
- ・活用 ○個人依頼件数50件、成立44件
（前年度：依頼件数29件、キャンセル1件、成立24件）
○企業・団体依頼件数1件（不成立）

イ なか東北連携地域日本語教育人材育成

岩手・秋田・山形の3大学と国際交流協会等による「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づき、「地域日本語教育専門人材養成講座」の実施を支援した。また、講座修了者等の日本語教育の有資格者が活躍できるよう、日本語サポーター制度の「教師枠」として、地域の企業や団体からの有償の日本語指導の依頼に対応する仕組みを整備した。

⑧施策17 外国人相談の実施 ・ いわて外国人県民相談・支援センターの運営(県委託)

在住外国人が安心して生活できるよう、在留資格などの行政手続、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関することなど、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置するとともに、外国人相談専門員を配置し、関係機関とのネットワーク形成を図る連絡会議等を開催した。

ア 相談窓口の設置

相談窓口において生活上の問題をはじめとした幅広い相談へ対応した。

- ・相談件数 669件（前年度 546件）（相談専門員による相談、地域巡回相談、外国人専門相談員における相談件数を含む。）

(相談内容の内訳)

年 度	日本語 学 習	住 居	教 育	医療・保 健・福祉	行政手続	その他
令和4年度	50	1	5	97	138	378
令和3年度	30	6	15	106	115	274
令和2年度	76	24	53	171	300	499

イ 相談専門員等の配置

- ・相談マネージャー(1人)
- ・外国人相談・支援専門員(1人)
- ・外国人相談専門員(中国語、1人)
- ・外国人相談専門員(韓国語、1人)
- ・外国人相談専門員(英語、1人)
- ・外国人相談専門員(ベトナム語、1人)

ウ 関係機関との連携

外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議の開催

第1回

- (ア) 日時 令和4年7月11日(月)13:30～15:00
- (イ) 場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)7階 研修室701
- (ウ) 出席団体 9団体、16名

第2回

- (ア) 日時 令和5年2月9日(木)13:30～15:00
- (イ) 場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)8階 会議室802
- (ウ) 出席団体 10団体、15名

エ ウクライナ避難民支援

(ア) ウクライナ避難民に対しての相談対応

ウクライナ避難民受入に関する相談窓口を設置するとともに、常務理事をヘッドとする支援チームを編成し、定期的に避難民宅を訪問するなどウクライナからの避難民の相談に対応。(訪問回数 のべ23回)

(イ) 言語支援

- ・ウクライナ語及びロシア語の通訳・翻訳者の確保、通訳料の支払い
- ・翻訳機「ポケットーク」を避難民、町役場、教育委員会へ貸与

(ウ) 在留資格変更手続きの支援

- ・短期滞在(3か月)から特定活動(1年間)への申請手続きの支援及び同行
- ・岩手県行政書士会による特定活動(就労可)への変更申請の支援及び同行

(エ) 宗教的ニーズへのサポート

ウクライナから避難している家族の盛岡ハリストス正教会で行われた「復活祭」への参加を支援

(オ) 地元住民との交流を支援「あそびの国際ひろばinひろの」(自主事業：再掲)

- ・日 時：令和4年7月9日(土) 13:30～15:30
- ・会 場：洋野町民文化会館 セシリアホール
- ・参加者：計57名
- ・内 容：前半 レクリエーションによる避難民と地元住民との交流
後半 ナージャ氏、レーナ氏によるウクライナの現状についての紹介



来県時の様子



在留資格申請手続きのため来盛した時の様子

⑨施策18 地域巡回相談

相談マネージャー及び外国人相談・支援専門員等が、外国人を雇用する企業や関係機関・団体、日本語教室、市町村国際交流協会等を訪問し、外国人労働者等の状況や課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

- ・巡回件数 56件(前年度 56件)

⑩施策19 外国人定期相談日

岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し、無料相談日を開設した。

- ・岩手県行政書士会と連携した相談日
開設数 24回 相談件数 28件(前年度24回 28件)
- ・岩手弁護士会と連携した相談日
開設数 4回 相談件数 6件(前年度 4回 4件)

⑪施策21 外国人患者受入体制構築事業(県補助)

ア 在住外国人及び外国人旅行者が医療機関等を受診する際に、言語面での支援が円滑に図られるよう、多言語での逐次通訳が可能な電話医療通訳システムを試行導入し、県内での活用を検討した。

(7) 電話医療通訳

Medi Phone

- ① 言語数 22言語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語、ベトナム語、フィリピン語(タガログ語)、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ミャンマー語、ヒンディー語、モンゴル語、ペルシャ語、広東語、アラビア語、ラオス語、ウルドゥー語、ベンガル語、台湾語)



- ② 期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ③ 登録件数 57機関・116回線
- ④ 活用実績 21件 うち、新型コロナウイルス関連 0件

イ 在住外国人が抱える健康面での不安や悩みの解決に向けて、医療関係機関等との連携を取りながら医療相談会などの開催の支援等を行うことで在住外国人の抱える医療面での課題の把握を進めた。

(7) 医療相談会の開催

医療関係者や医療関係団体等との連携・協働により、在住外国人を対象とした医療相談会を開催し、在住外国人の抱える医療面での課題の把握を図った。

・無料外国人健康診断/医療相談会

協働：Espeyulo

協力：盛岡医療生活協同組合 川久保病院

開催回数 7回 延べ受診者数 26人

(内訳)

開催日	受診者数	内訳
令和4年4月23日(土)	3人	中国3人
5月21日(土)	5人	中国2人 (ほか、前月受診者の再検査3人)
6月25日(土)	3人	中国3人
10月29日(土)	1人	米国1人
11月26日(土)	4人	中国2人、タイ1人、ベトナム1人
12月17日(土)	4人	モンゴル2人、ベトナム2人
令和5年1月28日(土)	6人	韓国1人、ベトナム4人 (ほか、前月受診者の再検査2人)

⑫施策23 いわて災害時外国人支援体制の構築（県委託）

災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練等を実施し、体制作りを行った。

ア 災害時多言語支援窓口の設置・運営

(7) 災害時多言語サポーター実践訓練（盛岡）

日 時： 令和4年12月11日(日) 10:00～12:00

会 場： アイーナ 会議室501

内 容： 「災害時多言語窓口」として、災害時多言語サポーターと連携して、被災地域の想定である一関市に対しての遠隔からの多言語情報発信、多言語での相談支援等の訓練を実施した。

参 加 者： 13人（多言語支援者9人、国際交流員2人、語学講師2人）

(4) 災害時多言語サポーター実践訓練（モデル地区／一関）

日 時： 令和4年12月11日(日) 10:00～12:00

会 場： 一関市総合防災センター 大会議室

内 容： 被災地域の想定で、一関市及び一関周辺の災害時多言語サポーターが、外国人からの相談・問い合わせ対応訓練を実施し、現地で対応できない言語や問い合わせ内容について「災害時多言語支援窓口」と連

携して対応を行った。

参加者：15人（多言語支援者3人、外国人協力者7人、市役所・市協会5人）

(ウ) 災害時多言語支援窓口設置運営局内訓練

日時：令和5年1月12日（木）10:00～12:00

場所：国際交流センター内

参加者：職員等16人

内容：災害時多言語支援窓口運営にかかる業務対応訓練



イ 県が実施する防災訓練への参加

(ア) 令和4年度岩手県総合防災訓練

i 救出救助訓練

日時：令和4年10月29日（土）

場所：大船渡市山村広場

訓練内容：大船渡地区消防組合消防本部が実施する救出救助訓練に外国出身者5名が参加、外国語対応の訓練に協力した。

ii 遺体対応訓練

日時：令和4年10月29日（土）

場所：大船渡市旧越喜来中学校

訓練内容：大船渡市及び警察より外国人遺族への遺体引き渡し訓練のため、ベトナム出身者2名が協力した。



ウ 災害時多言語サポーターの登録拡充、育成

令和4年度末登録状況	人数	増減
いわて災害時多言語サポーター登録者	34人	－6
令和4年度新規認定者	3人	＋3
令和4年度更新者（更新対象者13人）	4人	－9

(ア) 災害時多言語サポート研修会（基礎研修・応用研修）【対面／オンライン】

日時	実施方法／会場	参加者数
令和4年7月23日（土） 10：00～14：30	オンライン	基礎研修14人 応用研修15人
令和4年9月11日（日） 10：00～14：30	一関市なのはなプラザ3階	基礎研修9人 応用研修9人

内 容：

基礎研修①「災害対応」

講師 岩手大学地域防災研究センター客員教授／防災危機管理アドバイザー 越野 修三氏

基礎研修②「災害時の外国人とのコミュニケーション」

講師 岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子氏

ブラッシュアップ研修 「宮城県国際化協会の支援活動」

講師 （公財）宮城県国際化協会総括マネージャー 大泉 貴広氏

エ 語学研修会の開催

(ア) 災害時多言語サポート英語講座

日時	実施方法／会場	参加者数
令和4年10月29日（土）	一関市総合防災センター 大会議室	12人
令和4年10月30日（日）	オンライン	13人

- ・ 委託先： 合同会社ポリグット J P
- ・ 講 師： クウィンラン フェリス氏、照井 里江子氏（合同会社ポリグットJP）

(イ) 災害時多言語サポート中国語講座

日時	実施方法／会場	参加者数
令和5年1月14日（土）	オンライン	9人

- ・ 講 師： 外国人相談専門員（中国語） 陳 茜 氏

オ 市町村等の取組への支援に関すること

(ア) 市町村等の取組への支援

- ・ 一関市 職員向け「やさしい日本語」研修会

日 時： 令和4年8月9日（火）

会 場： 一関市役所大会議室

参 加 者： 28人（会場15人、オンライン13人）

講 師： 岩手大学国際教育センター教授 松岡 洋子 氏

(イ) やさしい日本語研修会

- ・ NEWS WEB EASY ニュースをわかりやすく伝える工夫【オンライン】

日 時： 令和4年11月2日（水）13：30～15：00

実施方法： オンライン（Zoom ウェビナー）

参 加 者： 29人

内 容： NHKのNEWS WEB EASYの取り組みから、やさしい日本語での情報発信について学ぶ

講 師： NHK報道局ネットワーク報道部チーフ・リード（大阪放送局コンテンツセンター第2部兼務）越智 慎司氏

・ やさしい日本語実践講座

日 時： 令和5年3月5日（日）10：00～12：00

会 場： 一関文化センター 小ホール

参加者： 13人

内 容： やさしい日本語の言い回しを実践的に学ぶ

講 師： 岩手日本語教育コーディネーター、日本語教師 藤波大吾氏



⑬施策25 外国人労働者受入体制推進事業

外国人労働者の増加を想定し、外国人労働者や受入企業等が抱えるニーズや課題の解決に向けた取組を進めるため、市町村国際交流協会等と連携して地域住民に対する外国人労働者の受け入れ理解の促進を図る機会等を創出した。

ア 地域との交流機会の創出

市町村や市町村国際交流協会等との連携により、外国人労働者と地域住民との交流機会を創出し、相互理解を進めることで、外国人労働者が地域で活躍できる地域づくりを進めた。

① 紫波町開催

協働 紫波町国際交流協会

日時 令和4年9月18日（日） 9：00～15：30

会場 紫波フルーツパーク、紫波ローズガーデン、月の輪酒造店など（紫波町内）

参加 実習生19人（ベトナム、フィリピン）、紫波町国際交流協会会員等5人

内容 ぶどう狩り体験や酒蔵見学など町内巡りを通じて交流を図った。



② 矢巾町開催

協働 矢巾町国際交流協会

日時 令和4年10月9日(日) 9:00~16:00

会場 矢巾町歴史民俗資料館、ジャンパランド、県立防災センター、高館農園など(矢巾町内)

参加 実習生6人(ベトナム)、矢巾町国際交流協会ボランティア等11人

内容 町の歴史学習、スポーツ・自然体験、防災学習、農業体験など町内巡りを通じて交流を図った。



③ 二戸市開催

協働 二戸市国際交流協会

日時 令和4年10月16日(日) 9:00~12:00

会場 中里農園、みるみるハウス(軽米町)

参加 実習生14人(中国・ベトナム・インドネシア)、ALTなど4人、日本語ボランティア等10人

内容 りんご狩り体験などを通じて交流を図った。



④ 釜石市開催

協働 釜石日本語教室 桜会

日時 令和4年10月23日(日) 10:00~12:00

会場 青葉ビル研修室、尾崎神社(釜石市内)

参加 実習生18人(ベトナム、インドネシア)、日本語ボランティア等6人

内容 神社について事前学習を行い、神社の参拝体験を通じて交流を図った。



⑤ 大船渡市開催

協働 大船渡市国際交流協会

日時 令和4年11月11日(日) 12:00～15:30

会場 三陸鉄道、三陸駅周辺(大船渡市)

参加 実習生9人(中国、ベトナム)、大船渡市国際交流協会会員等10人

内容 三陸鉄道の乗車体験と三陸駅周辺での散策などを通じて交流を図った。



⑥ 西和賀町開催

協働 西和賀町役場

日時 令和5年3月16日(木) 14:00～16:00

会場 まちなか交流館(西和賀町湯本)

参加 実習生7人(モンゴル、ベトナム、フィリピン)、西和賀町集落支援員など
10人

内容 西和賀町の紹介やゴミの出し方、日本語学習に関する情報提供と困りごとの聞き取り・情報交換などを通じて交流を行った。



3 次代を担う人づくり

①施策29-2 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

・受入実績12校1団体、51人（前年度6校1社、32人）

依頼先	内容	受入期間	人数
公立大学法人岩手県立大学	センター紹介	令和4年4月27日	2人
岩手県立種市高校	センター紹介	令和4年5月5日	1人
北海道小樽市立朝里中学校	センター紹介	令和4年5月19日	6人
岩手県立不来方高校	センター紹介	令和4年8月9日	2人
岩手県立不来方高校	センター紹介	令和4年8月15日	1人
盛岡市下小路中学校	センター紹介	令和4年9月7.8日	10人
学校法人盛岡大学	インターンシップ	令和4年9月8.9日	2人
岩手県（インターンシップ）	センター紹介	令和4年9月15日	5人
盛岡医療福祉専門学校	センター紹介	令和4年9月15日	7人
岩手大学附属中学校	センター紹介	令和4年9月15日	5人
学校法人盛岡大学	センター紹介	令和4年10月7日	複数名
公立大学法人岩手県立大学	センター紹介	令和4年11月21日	1人
学校法人盛岡大学	センター紹介	令和5年1月13日	9人

②施策30 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営（県委託）

ア 「いわて協創グローバル人材育成プログラム」の実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

派遣学生数：3名（上期1名、下期2名）

派遣国：フランス、スイス、タイ

イ グローバルキャリアフェア及び外国人を対象としたインターンシップの実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェア及びインターンシップを実施した。

(ア) グローバルキャリアフェアin岩手 事前オリエンテーション

実施日：令和4年11月5日（土）

会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）会議室803

参加人数：16名（外国人13名、海外派遣学生3名）

(イ) グローバルキャリアフェアin岩手

実施日：令和4年11月19日（土）

会場：ツガワ未来館アピオ 岩手産業文化センター

参加企業：66企業・団体

参加者数：10か国 17名

（留学生12名、JETプログラム参加者3名、一般2名）

※（公財）ふるさといわて定住財団との共催で実施

ウ 外国人留学生等を対象としたインターンシップ事業の実施

受入協力企業：4社 ※うち1社は途中で取り下げ

応募者数：2名 ※うち1名は令和5年度の実施に向け調整中

実施実績：1件（1社1名）

エ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等の開催

留学支援事業による派遣学生をはじめとする海外留学に関心の高い日本人学生並びに外国人留学生等のグローバル人材と県内企業との「つながり」の場を創出し、グローバル人材と県内企業等との相互理解促進を深める機会を提供するため計画した。

実施日：令和4年9月9日（金）

会場：盛岡地域交流センター マリオス18階会議室188

事例紹介：株式会社ケーエムエフ花泉工場ゼネラルマネージャー 那須善行氏

進行：ジェトロ仙台 高度外国人材活躍推進コーディネーター 黒澤瞬氏

参加者数：54名（外国人材 36名、企業等 10名、事務局等 8名）



オ 外国留学生等を対象とした県内企業訪問

実施日：令和4年9月13日（火）

訪問先：株式会社 岩手エッグデリカ

参加者数：13名（留学生8名、国際交流員2名、事務局3名）

※岩手大学と連携して実施

③施策31-1 私費外国人留学生支援奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

・受給者 10人、国際交流等活動実績 延べ 137件

〔内訳〕 岩手大学大学院生5人、岩手大学学部学生3人、岩手医科大学学部生2人
（前年度 10人、国際交流等活動実績 延べ 136件）

④施策31-2 海外留学及び外国人留学生調査の検討

県内の大学生等の海外留学に対しての意識調査及び県内の外国人留学生の職業観などを把握する調査を実施した。

ア 県内大学生等の海外留学に対する意識調査

- ・調査の範囲 いわてグローバル人材育成推進協議会事業に参加した学生及び「2022 ワン・ワールド・フェスタinいわて」の日本人ボランティアなどの学生50人
- ・調査方法 Webによる調査(GoogleフォームのURLをメールにて対象者へ送信)
- ・調査実施期間 令和5年1月19日から2月28日
- ・回答数 50人(大学生37人、高校生13人)
- ・主な調査結果
海外留学への興味：とても興味がある66%、どちらかといえば興味がある32%

イ 県内の外国人留学生の職業観についての調査

- ・調査の範囲 いわてグローバル人材育成推進協議会事業に参加した学生及び「2022 ワン・ワールド・フェスタinいわて」の日本人ボランティアなどの学生60人
- ・調査方法 Webによる調査(GoogleフォームのURLをメールにて対象者へ送信)
- ・調査実施期間 令和5年1月19日から2月28日
- ・回答数 60人(大学生46人、専門学校・日本語学科14人)
- ・主な調査結果
将来(卒業後)の就職先：岩手で35%、岩手以外の日本で46%、海外(母国を含む)で12%

⑤施策32 海外研修員等のサポート（県委託）

岩手県委託事業として、岩手県が受け入れる海外技術研修員の生活上のサポートを行った。

氏名	推薦団体	期間	研修先
野村カリナ	ブラジル岩手県人会	令和4年6月～12月	竹田・菊地税理士法人



＜管理部門＞

1 評議員会・理事会等の開催状況

理事会、評議員会、評議員選定委員会の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
令和4年 6月2日(木)	第44回理事会	決議事項 1 令和3年度事業報告及び附属明細書の承認について 2 令和3年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3 定時評議員会の招集について
6月22日(水)	第15回評議員会	決議事項 1 令和3年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について 2 理事の選任について
11月15日(火)	第45回理事会	報告事項 1 職務の執行状況について 2 資金運用の経過及び結果について 3 令和4年度事業実施状況について 4 公益法人立入検査結果について
令和5年 3月14日(火)	第46回理事会	決議事項 1 令和5年度事業計画書及び収支予算書の作成について 2 県出資等法人に係る中期経営計画書(令和5年度～令和8年度)の作成について 3 文書等の開示に関する規程の一部改正について 4 公益財団法人岩手県国際交流協会常勤嘱託職員の取扱いに関する規程の一部改正について 5 公益財団法人岩手県国際交流協会就業規則の一部改正について 6 臨時評議員会の招集について
3月28日(火)	第17回評議員会	決議事項 1 理事及び監事の選任について 2 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

令和4年度末の事務局職員数は、常勤職員10名、非常勤専門員1名、非常勤相談員4名（委嘱を含む。）、非常勤補助員6名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

理事長及び常務理事からの訓示のほかコンプライアンス違反行為等を発見した際の報告先を周知するなど、コンプライアンスを最優先し業務を遂行した。

また、令和5年3月に外部委員1名を加えた「コンプライアンス委員会」を開催し、令和4年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

職員研修については、文化庁や自治体国際化協会等の外部研修に参加した。

(3) JICA国際協力推進員の配置

当協会とJICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA東北支部との協定により、令和4年度も協会内にJICAデスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

次の24件 1,940,000円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

1件 100,000円

② 協賛寄附金

23件 1,840,000円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、令和4年4～6月及び10～11月に加入促進キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会の呼びかけ等を行った。また、会員の利便性向上と新規入会促進のため、協会HP上での入会や会費のクレジット払いを可能とするようシステムを導入した。この結果、令和4年度の新規入会は19件（前年度6件）となり、前年度より増加した。

（令和4年度中の入退会の状況）

	令和4年 3月末	入 会	退 会		令和5年 3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	245	13	8	22	228	△17
学生会員	17	4	1	4	16	△1
団体会員	49	2	2	0	49	0
合 計	311	19	11	26	293	△18

令和４年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和５年５月

公益財団法人岩手県国際交流協会